



今やろう！災害から命を守るために

ともに防災に
取り組みましょう

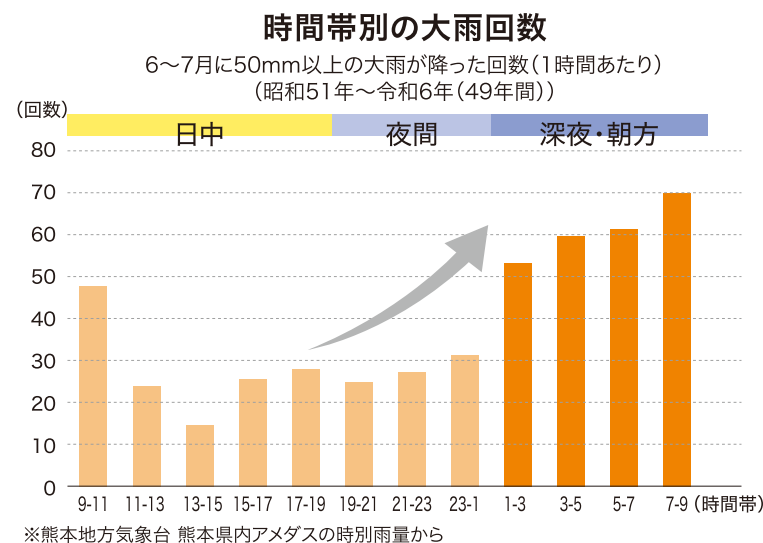
令和2年7月豪雨から間もなく5年。例年6月～7月は降水量が1年で最も多く、水害の発生する可能性が高まります。
いざという時のため、自分でできる備え、地域でできる備えに取り組みましょう。

自助 自分と家族を守る

明るいうちに早めの避難を心掛けましょう

夜間や大雨時は、避難そのものが危険になります。大雨が予想される場合には、雨が本格的に降り出す前の明るい時間帯に、安全な場所に避難する「予防的避難」を心掛けましょう！

深夜から朝方にかけて
大雨が発生する
傾向があります。



あなたと家族のマイタイムラインを作りましょう

マイタイムラインとは、自然災害から身を守るためにあらかじめ一人ひとりの避難行動をまとめておく「防災行動計画」です。

□まずは地域の「災害リスク」を知ろう！

ハザードマップなどで自分の住む地域の災害リスクを知りましょう。防災情報の読み方を理解し、自分のとるべき行動を把握することも大切です。

□マイタイムラインを作成しよう！

「くまもとマイタイムライン」専用WEBサイトでは、自分の住む地域の情報を入れるだけで、誰でも簡単にマイタイムラインを作成し、保存や印刷ができます。作成をお手伝いする動画も掲載していますので、ご活用ください。

□家族で共有し、みんなで活用しよう！

作成後は、自分のスマートフォンやパソコンに保存するとともに、自宅の目につくところに掲示するなどして家族と共有しましょう。また、1年に1回は内容の見直しを行いましょう。

熊本県 マイタイムライン

検索



非常持ち出し品・備蓄品を準備しましょう

非常持ち出し品

避難時に持ち出すものを
普段から準備しておきましょう

- | | |
|--|---|
| □現金・貴重品
(通帳・印鑑・
マイナカード・
免許証) | □靴・スリッパ
□防寒着
□毛布
□タオル |
| □懐中電灯/ランタン
□乾電池
□モバイルバッテリー
□(ウェット)ティッシュ
□飲料水
□食料
□衣類 | □眼鏡・コンタクト
□レンズ保存液
□薬・お薬手帳
□歯ブラシ
□生理用品
□マスク |

備蓄品

電気・ガス・水道などのライフライン被害や物資供給の停滞に
備えて、日頃から自宅に、生活用品を備えておきましょう

- | |
|-------------------------|
| □保存食・インスタント食品(人数×最低3日分) |
| □飲料水(1人1日3L×最低3日分) |
| □給水ポリタンク |
| □紙皿・紙コップ・割り箸 |
| □ラップ |
| □ビニール袋 |
| □(ウェット)ティッシュ |
| □タオル |
| □簡易トイレ |



共助 地域ぐるみで守る

地域で防災活動に取り組みましょう ～自主防災組織をご存知ですか？～

災害発生時、住民同士の助け合い(共助)が大きな役割を果たします。自主防災組織は、地域住民が一緒になって防災活動に取り組むための組織です。日頃から災害に備えた訓練や啓発、地区防災計画の作成等を行っています。

県では、自主防災組織の活動の参考としていただくため「地域防災活動支援プログラム」を作成しています。「マイタイムラインを活用した避難訓練」の実施方法などを分かりやすく掲載し、県ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



熊本県 地域防災活動支援プログラム

検索

＼共助の力で令和2年7月豪雨を乗り越えた／

カミ シン

上新町自主防災組織の取り組み(人吉市)

☞ 地域で「顔の見える関係づくり」

- 餅つき大会等を通じ、世代間交流を促進
- いざという時のために、炊き出し訓練を実施

☞ 地域独自の災害への「備え」

- 地域の危険箇所や避難経路等をまとめたマップを作成
- 地域独自の「災害行動マニュアル」の作成と訓練の実施



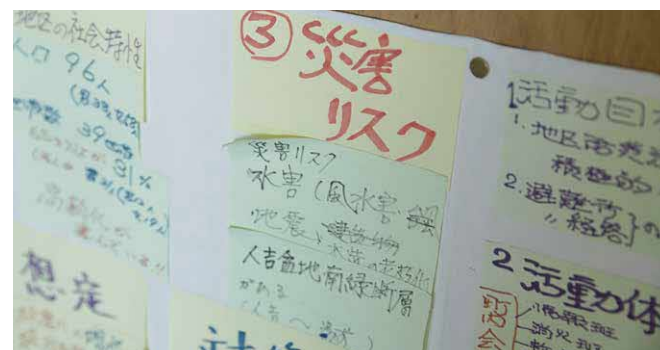
餅つき大会を開催し、子どもと高齢者が交流



炊き出し訓練を実施



地域の危険箇所の実態と避難所・避難経路をまとめたマップ



皆で集まって災害リスクの洗い出し



「向こう3軒両隣を大事に！」 地域で顔の見える関係づくりを！

災害時には、自分の命、隣の人の命をどう守るか、守られるか、という点が大切です。そのために、地域で顔の見える関係を構築していくが必要になってきます。地域での交流活動やあいさつ等を通じて日頃からコミュニケーションを図っておくことで、いざという時、地域で助け合うことができます。

上新町自主防災組織 白石 忠志さん
(上新町町内会長)

公助

行政が守る

県全体の災害対応力向上のために、市町村・警察・消防・自衛隊等の関係機関と連携した実践的訓練を行っています。

- 令和2年7月豪雨を教訓とした豪雨対応訓練
(全45市町村、警察、消防、自衛隊、熊本地方気象台等が参加)
- 日奈久断層を震源とする地震を想定した県総合防災訓練
(14市町、自衛隊、九州電力苓北発電所、海上保安庁等が参加)



県庁防災センターでの豪雨対応訓練の様子



天草地域での県総合防災訓練の様子

県庁防災センター展示・学習室

熊本で発生した災害の記録や災害発生メカニズム、防災の取り組みなどについて学ぶことができます。



展示パネル



プロジェクションマッピング



県庁防災センター展示・学習室

開館時間：平日9時～17時(年末年始、土日祝は閉館) 入館料は無料
【問い合わせ先】危機管理防災課 ☎096-333-2111

くまもと防災復興ウィークを開催

6月29日(日)～7月5日(土)の期間中、令和2年7月豪雨からの復興状況や「緑の流域治水」の取り組みを発信します。

